

## 第103回資産運用委員会 議事要旨

1. 日時：令和6年6月17日（月）9：55～11：00
2. 場所：KKRホテル東京 11F 丹頂
3. 参加者：神野委員長、宇野委員、小野委員、白須委員、玉木委員、  
中嶋委員、林委員

### 4. 議事要旨

#### (1) 運用の状況及び運用リスク管理の状況（令和5年度）について

事務局から、厚生年金保険給付積立金及び退職等年金給付積立金の令和5年度の運用状況及び運用リスク管理の状況について説明があり、それぞれの積立金の管理運用の方針に則り運用が行われたこと、適切なリスク管理が行われたことが確認された。

#### (2) 令和5年度 業務概況書について

事務局から、厚生年金保険給付積立金及び退職等年金給付積立金の令和5年度の業務概況書について説明があり、事務局案に賛同することとされた。

委員からは、以下の意見があった。

- ・KKR職員の論文が証券アナリストジャーナル賞を受賞され、そのような職員がいることが公になったことは、良いアナウンスメント効果だったと思う。
- ・数年に一度でもいいので、学会で発表するような職員が出てくるといいと思う。そういった機会があると、職員のモチベーションがより一層高まるのではないか。
- ・KKRにおいて、専門的知見の習得にこれまでいろいろ対応されたことが、実際に効果が目に見える形になりつつあるのだろうと思う。アセットオーナー・プリンシプルの議論で運用力という言葉があるが、KKRにおける運用力は、地道な努力の積み重ねの結果高まっていくものであると組織内で合意できるのであれば、KKRらしい見方なのではないか。

(3) 厚生年金保険給付積立金の管理運用の方針及び退職等年金給付積立金の管理運用方針の一部変更（案）について

事務局から年金積立金の管理運用の方針等の一部変更について説明があり、事務局案に賛同することとされた。

委員からは、以下の意見があった。

- ・オルタナティブ投資について、基本的には慎重であればあるほど良い。
- ・ベンチャー投資等は、投資先の1つか2つが成功すれば良いという理解がアメリカでは進んでいるが、日本においては失敗に目が行きがちなので、特性を理解しながら進めてもらいたい。
- ・オルタナティブは代替投資の意味合いであるが、10年前とは状況が変化している。流行りものに投資をするのではなく、金融仲介の構造変化を取り入れる形でオルタナティブ投資をするという考え方が成立するだろう。

以 上